

青春の劔岳へ

国土交通省官房技術総括審議官 中尾 成邦

あ〜こわかった。
正直な印象です。こんなに劔

岳への一般登山道がこわかったとは!!

8月末に劔岳に登ってきました。約30年ぶりの劔です。

大学時代、山岳部に所属し、夏の合宿は、劔岳、真砂沢をベースに、毎年、約一週間余りを、すごしてきました。その時代は、ハッ峰、源治郎尾根はもちろんのこと、六峰A、B、C、Dフェース、チンネなど、ザイルやハーケンなどを持ち、劔周辺を闊歩？ していました。もちろん、雪の劔も行きましたし、卒業して5〜6年後の、30年前は、女房の両親を含め、60歳くらいの人を連れて、劔岳に登ってもきました。

今回は、山岳部時代の仲間4人と、女房も連れて、小屋泊まりで、懐かしの合宿の地を見に行こうと、計画したものです。

前日は、室堂を出て、一ノ越経由、立山縦走、劔沢小屋泊。当日は、さあ登るぞと、6時発、小屋の主人が、「昼前から雨」と教えてくれました。それでは、さっさと登ろうと、行ったのですが、前劔の頂上付近から雨、それから雨ですべりそうな「カニのたてばい」を登り、やっとのことで頂

上。ガスと雨で、まわりは全くみえず、早々に退散。下りの「カニの横ばい」もこわかった。小屋の主人からの忠告、「前劔の下りで、よく事故がおきるんだよ、今年も、2、3件あったよ」、肝に銘じ、ゆっくりと下山。劔山荘に到着して、やっと、昼食をとる余裕、ホットしました。

そこで、今回の反省

- 一、昔の（しかも数十年前）の幻想（体力の過信）は、捨てるべき。
- 二、山の天候は、よく変わる、余裕を持った山行にすべき。

あーあ、本当に、しんどく、こわかった。

でも、来年は、「合宿地、真砂沢」と、「仙人池からの劔」を見に行こうっと！



劔岳山頂にて(山岳部時代の仲間と。左端が筆者)



御前小屋前にて(妻とともに)